

第11回 鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会 概要

1 日 時： 令和4年5月27日(金) 14時00分～14時50分

2 会 場： オンライン会議

3 出席者：

(委員)

倉吉市長 広田 一恭

三朝町長 松浦 弘幸

湯梨浜町長(代理) 総務課参事 岸田 哲夫

琴浦町長(代理) 総務課長 山田 明

北栄町長(代理) 総務課長 磯江 昭徳

鳥取中部ふるさと広域連合 消防局長 前田 輝彦

気象庁 鳥取地方気象台長(代理) 次長 西村 修一

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長 藤原 年生

農林水産省 中国四国農政局 中国土地改良調査管理事務所長(代理) 企画課長 河相 泰信

鳥取県 危機管理局長 水中 進一

鳥取県 農林水産部長(代理) 農地・水保全課課長補佐 西田 幸生

鳥取県 中部総合事務所 農林局長 地原 聡子

鳥取県 企業局長(代理) 工務課長 原 雅人

鳥取県 県土整備部長(代理) 河川課長 岩下 浩之

鳥取県 中部総合事務所 県土整備局長 石賀 祐二

4 議題

(1)令和4年夏の天候の見通しについて

(2)規約改正について

(3)今後5ヵ年(第2期:R4～R8)の減災に係る取組方針の策定について

(4)今後の「二級水系流域治水プロジェクト」のフォローアップ等について

(5)その他

5 議事概要

(1)令和4年夏の天候の見通しについて

○今後1ヵ月予報の降水量は平年並みか多く、今後3ヵ月予報としてはほぼ平年並みの見通し。(鳥取地

方气象台)

(2)規約改正について

○本年2月に開催した「減災対策協議会」において、「流域治水」の協議も追加することとしたことから、農林水産省中国四国農政局及び県の農林水産部も委員として参画することについて事務局から提案し承認された。

(3)今後5カ年(第2期:R4～R8)の減災に係る取組方針の策定について

(ア)これまで(第1期:H29～R3)の振り返り

○令和2年4月にハザードマップを全戸に配布。ハザードマップに記載されている想定最大規模水位の周知を図るために「まるごとまちごとハザードマップ」の取組として各地域に表示板を設置した。ハード対策として明治町、古川沢にポンプ施設を設置し、内水排水対策に努めたところ。(倉吉市)

○ソフト面として防災体制づくり、防災教育、要配慮者利用施設の避難確保計画作成、緊急速報の活用、関係機関との連携などを行ってきた。ハード面として今後の減災に向けた主な対策として、昨年7月豪雨を教訓とし、流域治水対策としての協議、検討を行っている。(三朝町)

○ソフト事業として、昨年度防災マップを改訂して発行した。また防災リーダーとして防災士36名に着任いただき、避難所設営訓練を実施した。さらに要援護者利用施設の支援計画作成や訓練の実施、各地区の防災計画作成支援を行った。ハード面としては防災無線施設の移設や屋外発電設備の浸水対策を行ったほか、東郷池の龍島地内にて排水ポンプ場の建設を進めている。(湯梨浜町)

○防災マップを作成、配布し住民に周知を図った。併せてweb版も作成した。自助・共助の取組推進のため、防災士育成、自主防災組織の結成、集落等での防災研修の実施を行った。(琴浦町)

○ハード対策として、大雨で冠水する道路の嵩上げを実施。ソフト対策として、支え愛マップや自治会の要望を受けて出前講座を実施した。その他、防災士・水防団の訓練養成を行った。また、避難所の充実強化として木質バイオマスによる熱利用による暖房と非常用電源設備、公衆Wifiを設置した。(北栄町)

○避難スイッチの取組、支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上、登録者が2万人を超えるあんしんトリピーメール等による周知、広域避難の取組推進として日南町と南部町でモデル事業に着手、災害ケースマネジメントの全県展開などの取組を行った。(県危機管理局)

(イ)今後5カ年(第2期:R4～R8)の取組方針

○これまで都度見直しを行ってきており、5カ年で達成すべき目標については継続したいと考えている。また、5カ年で実施する取組についても、完了したもの以外は原則継続実施していくべきと考えている旨を事務局から説明し、「鳥取県中部地区県管理河川の減災に係る取組方針(第2期方針)(案)」について承

認された。

(4)今後の「二級水系流域治水プロジェクト」のフォローアップ等について

- 「二級水系流域治水プロジェクト」については昨年作成し公表しているが、協議会規約第4条に基づき、今後本協議会にて実施状況のフォローアップを実施していく旨を事務局から説明し承認された。
- 流域治水の取組として、各市町における「流域治水分科会」の取組及び流域治水プロジェクトの進捗概要について中部県土整備局から報告がなされた。

(5)その他

- 今出水期から、線状降水帯による大雨の予報を半日程度前から呼びかける。また危険度分布(キキクル)に黒色が新設され、薄紫色と紫色を統合することとした。さらに水位が急激に上昇し、3時間以内に氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は氾濫危険情報を発表する。(鳥取地方気象台)